

平成 26 年度 東京都内湾水生生物調査 1 月鳥類調査 速報

●実施状況

平成 27 年 1 月 26 日に鳥類調査を実施した。この時期は越冬期にあたり、冬鳥のカモ類やカンムリカイツブリ等が越冬のためにロシア等の繁殖地から渡ってくる。天気は晴れもしくは曇りで、気温 13.0～13.6℃、北東～南寄りの風が 0.1～3.4m/sec であった。調査当日は小潮で、干潮が 15 時 16 分(64cm)、満潮は 8 時 52 分(176cm)であった(東京都港湾局のデータ)。各地点の概況を下表に示す。

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
作業時刻	12:23-13:31	10:56-11:53	14:28-15:20
天候	晴れ	曇り	晴れ
気温(℃)	13.0	13.6	13.6
風向	南東	北東	南
風速(m/sec)	1.5	0.1	3.4
備考	下げ潮時に調査を行った。調査範囲外にもスズガモやカンムリカイツブリの群が見られた。猛禽類のノスリが見られた。	第六台場や鳥の島の樹上では、カワウが営巣を始めていた。鳥の島の樹木が伐採され減少していた。海浜公園内で浚渫工事が行われていた。	当日、干潟面積が最も大きくなる最干時に調査を行った。調査範囲の東側では護岸工事が行われていた。猛禽類のトビが見られた。

●主な出現種等

	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻
数が多かった 鳥類上位 2 種	スズガモ(1,370 羽) カンムリカイツブリ(242 羽)	スズガモ(740 羽) カワウ(593 羽)	コガモ(238 羽) ホシハジロ(53 羽)
その他の 鳥類	カワウ、アオサギ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、ハマシギ、ユリカモメ、カモメ、セグロカモメ、ハクセキレイ。	カモ類(カルガモ、オナガガモ等)、カンムリカイツブリ、ハジロカイツブリ、アオサギ、ダイサギ、オオバン、ユリカモメ、セグロカモメ、ハクセキレイ。	カモ類(カルガモ、オナガガモ、キンクロハジロ等)、ハジロカイツブリ、カワウ、アオサギ、オオバン、イソシギ、セグロカモメ、オオセグロカモメ、ミサゴ、ハクセキレイ。
備考	・汀線際や干潟では、シロチドリ、ハマシギを確認。 ・水上では冬鳥のスズガモやカンムリカイツブリの群れを確認。 ・重要種として、5 種を確認(スズガモ、カンムリカイツブリ、クロツラヘラサギ、シロチドリ、ハマシギ)。	・第六台場や鳥の島ではカワウが営巣し、抱卵する様子や雛を確認。 ・海浜公園の浅瀬ではスズガモ等のカモ類の群れを確認。 ・重要種として、4 種を確認(スズガモ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、オオバン)。	・干潟や浅瀬では冬鳥のコガモやオナガガモ等のカモ類を確認。 ・干潟や杭上では、カワウが休息。 ・杭上でミサゴが採食。 ・重要種として、3 種を確認(オオバン、イソシギ、ミサゴ)。

●出現種と個体数

No.	目	科	種	5月			6月			8月			9月			10月			重要種 選定基準			
				葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	葛西人工渚	お台場海浜公園	森ヶ崎の鼻	文化財保護法*1	種の保存法*2	環境省RL*3	東京都RL(区)*4
1	カモ	カモ	ヒドリガモ													11						
2			マガモ												2	9						
3			カルガモ	14	12	18	19	11	7	11	6	1		28	10	46						
4			ハシビロガモ												2	2						
5			オナガガモ												11	44						
6			ロガモ												49	238						
7			ホシハジロ												4	53						
8			キンクロハジロ													27						
9			スズガモ	12			16			10			24		1370	740				留意種		
10	カイツブリ	カイツブリ	カシムリカイツブリ	3			4			1					242	1				留意種		
11			ハジロカイツブリ												3	1						
12	カウチドリ	カウチドリ	カウチドリ	236	851	55	1598	591	130	1205	303	81	285	36	579	23	593					
13	ペリカン	サギ	ヨシサギ				1	4											NT	CR		
14			ヨシサギ		3															CR		
15			オササギ												1							
16			オササギ	4	30	11	16	23	5	16	15	7	16	17	14	2	35					
17			オササギ	29	3		19	4	2	33	11	2	19		9	1				VU		
18			オササギ	12	7	14	18	35	2	48	45	6	1	1	5					VU		
19		トキ	クロツラヘラサギ	1			1								1				EN	CR		
20	ツル	ツイン	ツイン	1						2										VU		
21			オオバン													5	34			VU		
22	チドリ	チドリ	ダイゼン							2										VU		
23			ロチドリ	3		2						1								VU		
24			シロチドリ	6		3	7		4	28			10		26					VU		
25			ダイチドリ	1		13				2		4	2		1					NT		
26		ミヤコドリ	ミヤコドリ	35			3						40							EN		
27		シギ	シギ	1																VU		
28			オオツルハシシギ	2																VU		
29			オオツルハシシギ	5		2														EN		
30			オオツルハシシギ	1			1			2			3							CR		
31			オオツルハシシギ				1			1			1							VU		
32			オオツルハシシギ	7						1			4							CR		
33			オオツルハシシギ	10	11	5				3	3	1								NT		
34			オオツルハシシギ							1										VU		
35			オオツルハシシギ	1	1	3				1			2	2	5	6				VU		
36			オオツルハシシギ		34	35							2							VU		
37			オオツルハシシギ	19																EN		
38			オオツルハシシギ	47																NT		
39			オオツルハシシギ	179											178					NT		
40		カモメ	ユリカモメ			1	1			2		8		6	5	16						
41			ウミネコ	37		6	258		2	310	23	97	1500	2	6							
42			ウミネコ												10							
43			オオセグロカモメ							7	2		8		4	1	18					
44			オオセグロカモメ	12		2	10		1	25		3	51		5		2					
45			オオセグロカモメ	8		123	2		310			4								国際		
46			オオセグロカモメ	219			1													VU		
47	タカ	ミサゴ	ミサゴ												1					NT		
48	スズメ	セキレイ	ハクセキレイ		1			2		1	5	1	1	2	2	1	3			EN		
計 8目12科48種				27種	10種	15種	18種	6種	11種	20種	10種	15種	18種	6種	14種	11種	14種	17種	0種	1種	8種	29種

※種のカテゴリ・配列は「日本鳥類目録 改訂第7版」(日本鳥学会, 2012)に従った。

\*1文化財保護法:

\*2種の保存法: 国際:国際希少野生動物植物

\*3環境省レッドリスト: EN:絶滅危惧I B類, VU:絶滅危惧II類, NT:準絶滅危惧

参照: [http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb\\_f.html](http://www.biodic.go.jp/rdb/rdb_f.html)

環境省自然環境局野生生物課. 2012年. 環境省第4次レッドリスト.

\*4東京都レッドリスト2010: CR:絶滅危惧I A類, EN:絶滅危惧I B類, VU:絶滅危惧II類, NT:準絶滅危惧, 留:留意種

東京都環境局自然環境部. 2010年. 東京都の保護上重要な野生生物種(本土部)~東京都レッドリスト~ 2010年版.

<葛西人工渚>



○調査地点の状況

干潟から東側を望む。左奥に見えるのは東京ディズニーランド。満潮から干潮へ向かう下げ潮時に調査を実施したため、干潟は広くなりつつあった。砂地の箇所や泥場、潮だまりが混在する。観察範囲は以下のとおり。



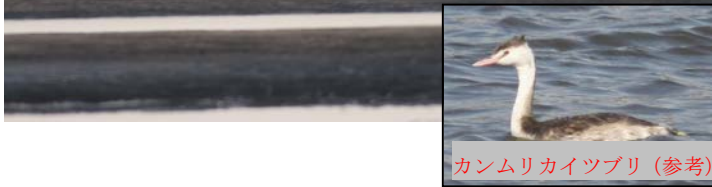
観察範囲



スズガモ (参考)

○出現種 (スズガモ)

最も個体数の多かった鳥類。東京都レッドリスト 2010 では留意種に指定されている。水上で休息していた。東京湾全体では数万羽以上が飛来する。



カンムリカイツブリ (参考)

○出現種 (カンムリカイツブリ)

東京都レッドリスト 2010 では留意種に指定されている。スズガモの群と一緒に水上で休息していた。潜水して魚類を採食する。毎年葛西でのみ、大群が見られる。



○出現種 (シロチドリ)

環境省レッドリストでは絶滅危惧Ⅱ類(VU)に指定されており、近年個体数が減少傾向にある。汀線付近や干潟で採食していた。



○出現種 (ハマシギ)

環境省レッドリストでは絶滅危惧類(NT)に指定されている。日本で越冬しているシギ類の中で最も個体数が多く、よく見られる。汀線付近や干潟で群で採食していた。

<お台場海浜公園>



○調査地点の状況

お台場海浜公園の砂場と第六台場、鳥の島が調査範囲。詳細な観察範囲は以下のとおり。  
鳥の島の樹木が伐採され、少なくなっていた。



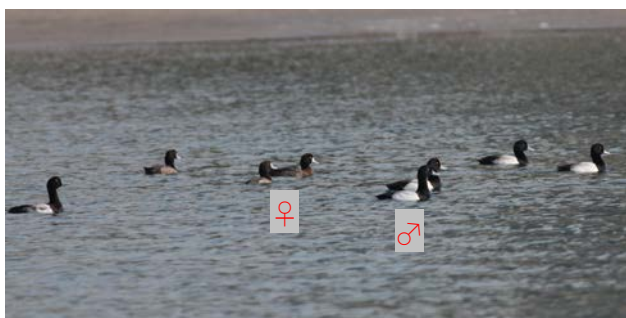
調査範囲

○出現種 (カワウ)

第六台場と鳥の島の樹上で営巣していた。すでに雛が生まれている巣もあった。カワウは巣材運びは主に雄が行い、抱卵や雛の世話は雌雄で行う。

○出現種 (スズガモ)

東京都レッドリスト2010では留意種に指定されている。お台場海浜公園の浅瀬や岩礁で群が観察された。潜水して貝類等を採食する。



○出現種 (ユリカモメ)

お台場海浜公園内の浅瀬や砂浜で休息していた。冬は全体的に白色だが、春～夏の繁殖期には頭部が黒色になる。本種は都民の鳥に指定されている。



## <森ヶ崎の鼻>



### ○調査地点の状況

昭和島、京浜島、羽田空港に囲まれた干潟。詳細な観察範囲は以下のとおり。



観察範囲



### ○出現種 (コガモ)

森ヶ崎の鼻で最も個体数が多かった。干潟で休息していた。草の種子や護岸等に付いている藻類等を採食する。



### ○出現種 (ホシハジロ)

海老取川方向のオイルフェンスで囲まれた内側で群を観察した。海よりも湖沼や河川に多い。水生植物等を採食する。

### ○出現種 (キンクロハジロ)

ホシハジロの群と一緒に観察された。スズガモに似ているが、本種は背が黒色であること、頭に冠羽があること等で識別できる。潜水して貝類や甲殻類等を採食する。



### ○出現種 (ミサゴ)

環境省レッドリストでは準絶滅危惧 (NT) に指定されている。魚食性の猛禽類。干潟の杭上で魚を食べていた。



### ○出現種 (セグロカモメ)

大型のカモメ類。カモメ類の識別は難しいが、よく似ているオオセグロカモメは背の色が本種よりも濃い灰色である点で識別できる。干潟で休息していた。